

全社員の IT 理解を、**共通水準** に揃える

IPA 経済産業省 | IT パスポートとは  
マナビ DX 掲載 | (動画)



# IT パスポート 取得講座

DXが進まない原因の多くは、ITスキル不足ではなく、社員ごとのIT理解のばらつきにあります。本講座は、ITの基礎を体系的に学ぶことで、全社員のIT理解を共通水準に揃え、DX・業務改善を前に進めるためのものです。

## ▶ こんな企業様へおすすめ

- 全社員向けのIT基礎教育を、効率的に展開したい
- 集合研修が難しく、オンデマンドでの教育を検討している
- 社員のIT理解を共通水準に揃え、DX・業務改善につなげたい

※業種・職種・IT経験の有無を問わずご活用いただけます。

## 方法 オンデマンド配信 (テキストpdf付)

+理解度テスト (過去問題) あり

※シナジークエスト社のオンラインITサイト「SQT」(<https://new.sqt.jp/>)より配信

## 視聴期間 視聴開始日※より90日間

※お申込み後に視聴開始日を調整します

## 料金

通常価格 9,900円 (税込)  
 (税別 9,000円)

20%  
OFF

ユーザ協会会員価格

7,920円 (税込)

税別 7,200円

※複数名での受講の場合、人数分の申し込みが必要です。  
※協会へご入会いただくと会員価格でご受講いただけます。  
(下記「ユーザ協会会員に関すること」へご連絡ください。)

## サポート

視聴期間後6か月間、ITパスポートの内容や受験についての質問にお答えします。

## 内容

詳細は裏面「カリキュラム」をご参照ください。

第1章	コンピュータの基本
第2章	計算知識とデジタル化
第3章	ネットワークとインターネット
第4章	データベース
第5章	システムの開発
第6章	プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント
第7章	セキュリティ技術とセキュリティ管理
第8章	企業活動と戦略
第9章	情報システム戦略とITの活用
第10章	守るべき法令とルール

## ▶ お申し込み

下記のメールアドレスへお申し込みください。

送信先 ▶ [jtua@hamanako.co.jp](mailto:jtua@hamanako.co.jp)

件名 ▶ ITパスポート講座申し込み

- ① 貴社名
- ② 郵便番号・ご住所
- ③ ご担当者の氏名・ふりがな／部署・役職／電話番号／メールアドレス
- ④ ご受講者の //

※人数分ご記載ください。多くの方がご受講予定の場合、一覧添付でも構いません。

御請求書を発行いたします。

※キャンセル及びキャンセル料について

お申し込み後の受講手続き完了後のキャンセルは、原則として料金の全額をご負担いただけます。

## お問い合わせ

### ● 本講座に関すること

株式会社浜名湖国際頭脳センター 人材育成担当：米良・佐藤

TEL 053-416-4002 Mail [jtua@hamanako.co.jp](mailto:jtua@hamanako.co.jp)



### ● ユーザー協会会員に関すること

公益財団法人 日本 ICT テレコムユーザー協会 東海事業推進部

TEL 052-222-9086 FAX 052-222-9087

Mail [aichi@jtua.or.jp](mailto:aichi@jtua.or.jp)

## カリキュラム

※カリキュラムは、シラバス 6.5 に準じています。

テーマ	視聴時間	内容
第1章 コンピュータの基本	約 73 分	Part1 コンピュータはどうやって動いているか？ Part2 データが保存される仕組み Part3 パソコンの周辺機器とインターフェース Part4 コンピュータを動かすソフトウェア Part5 コンピュータを動かすためのシステム
第2章 計算知識とデジタル化	約 76 分	Part1 コンピュータで使う「2進数」を知る Part2 ビット数とコンピュータでの演算の方法 Part3 表計算ソフトで計算する Part4 デジタル化と情報を扱うマルチメディア
第3章 ネットワークとインターネット	約 69 分	Part1 ネットワークの基本的な仕組み Part2 ネットワークをつなぐ“LAN” Part3 インターネット通信の仕組み Part4 電子メールの仕組み Part5 Web ページの機能とインターネットでの通信サービス
第4章 データベース	約 45 分	Part1 「データベース」とは何か？ Part2 データベースの基本的な操作 Part3 データベースを管理する機能
第5章 システムの開発	約 106 分	Part1 システム開発の基本と流れ Part2 システム開発の各工程の役割 Part3 システム開発を進める技法 Part4 プログラミングの基礎知識 Part5 疑似言語
第6章 プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント	約 56 分	Part1 システム開発のプロジェクトマネジメント Part2 ITサービスを提供するための管理手法 Part3 システムの性能評価（稼働率） Part4 設備管理
第7章 セキュリティ技術とセキュリティ管理	約 74 分	Part1 リスクとセキュリティ管理 Part2 コンピュータウィルスと攻撃の種類 Part3 不正アクセス防止の技術 Part4 暗号化技術を使ったセキュリティ
第8章 企業活動と戦略	約 110 分	Part1 企業活動と人材マネジメントの基礎知識 Part2 決算と財務分析の手法 Part3 業務分析と改善のための手法 Part4 経営の分析手法と戦略 Part5 マーケティングの分析手法と戦略 Part6 事業戦略と技術開発戦略
第9章 情報システム戦略とITの活用	約 75 分	Part1 情報システム戦略とシステム活用 Part2 経営・ビジネスでのシステム活用 Part3 エンジニアリングシステムと生産方式 Part4 インターネット上での e-ビジネス、ITサービス活用
第10章 守るべき法令とルール	約 62 分	Part1 知的財産 Part2 セキュリティ関連 Part3 労働・取引関連 Part4 内部統制 Part5 標準化のルール

計 約 12 時間 26 分